

東北自動車道における「緊急流入路」の整備について

【現状】

- 鹿角地域は三次救急医療機関への救急搬送が必要な場合、東北自動車道を経由して盛岡市の岩手医科大学附属病院へ搬送される場合が多い地域である。
- H27. 8には二次救急医療機関である「かづの厚生病院」の隣に、鹿角広域行政組合の消防庁舎が移転済みである。



最寄の三次救急医療機関は岩手医科大学附属病院であり、鹿角地域の住民の安心・安全のため緊急流入路の整備により搬送時間の短縮が必要。

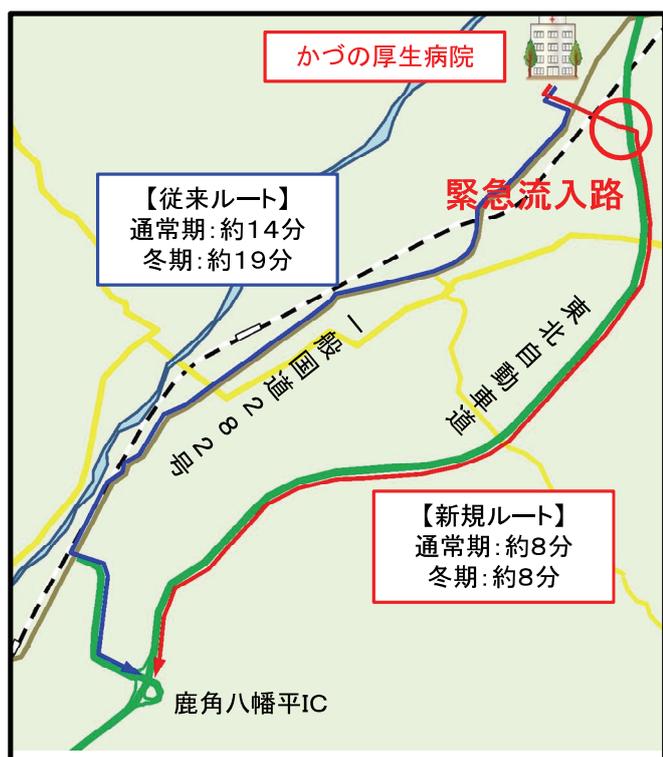
【整備効果】

かづの厚生病院付近に緊急流入路を整備することにより、岩手医科大学附属病院への搬送時間が「通常期で約6分」、「冬期で約11分」短縮。



緊急流入路の設置イメージ

(緊急流入路設置後の搬送ルート)



(岩手医科大学附属病院への搬送ルート)



↓至)岩手医科大学附属病院